

目次

1 2050年脱炭素社会の実現に向けて

2 京都市グリーンボンドの概要・資金使途について



1. 2050年脱炭素社会の実現に向けて



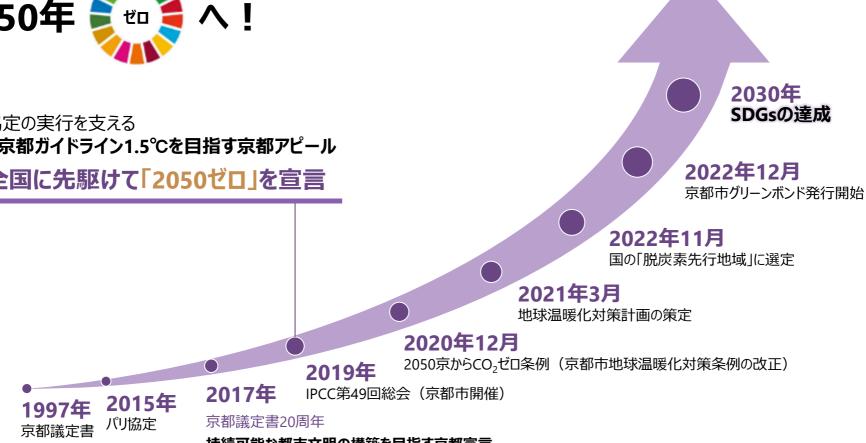
脱炭素社会に向けた取組の推進

地球の気温上昇を1.5℃以下に抑えるため



パリ協定の実行を支える IPCC京都ガイドライン1.5℃を目指す京都アピール

⇒全国に先駆けて「2050ゼロ」を宣言



2050年

持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言 2050年の世界の都市のあるべき姿

2050京からCO2ゼロ条例・地球温暖化対策計画 <2021-2030>

CO₂排出量正味

2050年ゼロ

2030年

GHG(温室効果ガス): ▲46%以上 再エネ比率: 35%以上



ビジネス

- 大規模排出事業者:排出削減計画の目標削減率を約2倍に (2023~)
- 中規模事業者:「エネルギー消費量等報告書制度」を創設 (2022~)

エネルギー しょうちに 太陽 光

- 300m²以上の建築物再エネ設置義務
- 太陽光発電上乗せ設置促進補助 (重点対策加速化事業)
- 太陽光パネルの共同購入、PPA促進
- 再エネ需要の促進
- 住宅の再エネ地産地消・地域循環推進事業



4分野の転換

Jul. 6

森林・農地等の 吸収源対策





- 大規模排出事業者:導入義務を強化(2023~)(新車購入時2/3以上)
- 自動車販売事業者:販売実績報告義務(2022~)
- 公民連携でのEV利用環境の整備



ライフスタイル

- 環境学習プログラム
- 222エコ学区での地域活動





脱炭素ライフスタイル推進 使用済衣服の回収&循環プロジェクト等









2. 京都市グリーンボンドの概要・ 資金使途について



京都市グリーンボンドの概要

2050年脱炭素社会の実現、国内外から京都への投資促進、市内企業・金融機関等における ESG投融資の活用やグリーンボンドの発行拡大を目指し、2022年度に本市として初となるグリーンボンドを発行、2024年度にも継続発行

発行概要

発行銘柄	京都市令和6年度グリーンボンド5年公募公債
発行日	令和7年2月21日(金)
発行額	60億円
利率	1.027%
償還期限·方法	5年(満期一括償還)
資金使途	省エネ改修事業(施設のLED化)、環境性能に優れた市有施設の整備事業、河川整備事業、緑化推進事業
外部評価	株式会社日本格付研究所から最上位「Green 1 (F) 」の評価を受けています
投資表明投資家	30団体
幹事証券会社	大和証券株式会社、野村證券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
主な環境改善効果	 エネルギー使用量削減等によるCO₂排出量削減量: 1,808t-CO₂/年(市有施設新築・増築事業)、62.9t-CO₂/年(施設のLED化) 再生可能エネルギーの導入量:404万MJ/年(市有施設新築・増築事業) 市内産木材(みやこ杣木)等利用量:879m³(市有施設新築・増築事業)

投資家一覧(2024年度に投資表明いただいた団体様のみ※)

• 投資表明とは、投資家(法人や団体等)が、グリーンボンドの購入を通じて、環境問題の解決、2050年二酸化炭素排出量正味ゼロの実現等に貢献し、社会的使命・役割を果たしていくことを対外的に公表することです

公益社団法人 愛知県畜産協会	ナカライテスク株式会社	京都信用金庫
医療法人社団 育生会	日本紙工株式会社	京都地下鉄整備株式会社
大竹商工会議所	平塚市	独立行政法人 住宅金融支援機構
宗教法人 カトリック聖ヨゼフ修道会	一般財団法人 藤沢市開発経営公社	株式会社寺子屋
株式会社関西みらい銀行	ヨシザワ想造建築株式会社	トヨタカローラ京都株式会社
公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	甘利香辛食品株式会社	日本コープ共済生活協同組合連合会
京都生活協同組合	大阪信用金庫	日本地震再保険株式会社
株式会社クレオテック	オリックス銀行株式会社	公益財団法人 福知山市都市緑化協会
株式会社千葉銀行	株式会社カワタキコーポレーション	株式会社吉川商店
鳥羽電設有限会社	教職員共済生活協同組合	ワタキューホールディングス株式会社

過去に発行したグリーンボンドにおいて投資表明頂いた団体様につきましては、下記のURLからご参照ください。

https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000337887.html



京都市グリーンボンドフレームワークの概要(1/2)

• 京都市グリーンボンドのフレームワークは次の4項目で構成しています

1 調達資金の使途

● 京都市グリーンボンドによる調達資金を充当する対象事業について、グリーンボンド原則等に基づくグリーンプロジェクトの事業区分ごとに想定する事業は次のとおり

対象事業	グリーンプロジェクトの事業区分	想定される環境効果
市有施設太陽光パネル設置事業	● 再生可能エネルギー	● 再生可能エネルギー導入量の増加
市有施設・設備省エネ改修事業	● 省エネルギー	エネルギー使用量削減によるCO₂排出量削減
クリーンセンター改修事業	● 省エネルギー	● CO₂排出量削減
土壌汚染対策事業	• 汚染の防止と管理	土壌汚染の除去による環境汚染の改善及び 健康リスクの低減
緑化推進事業	自然資源・土地利用の持続可能な管理生物多様性保全気候変動に対する適応	緑地面積の拡大による環境保全、雨水流出の抑制
森林整備等事業	自然資源・土地利用の持続可能な管理生物多様性保全気候変動に対する適応	適切に管理される森林面積の拡大によるCO₂ 吸収量の増加、その他の森林の多面的機能の 発揮
次世代自動車・バイオディーゼル車 導入事業	• クリーンな運輸	● エネルギー使用量削減によるCO₂排出量削減
河川整備事業	持続可能な水資源管理気候変動に対する適応	● 浸水被害の防止
市有施設新築·増築事業	グリーンビルディング省エネルギー	 エネルギー使用量削減によるCO₂排出量削減 再生可能エネルギー導入量の増加 市内産木材(みやご加木)等の利用に伴う 炭素貯蔵によるCO₂排出量の削減

京都市グリーンボンドフレームワークの概要(2/2)

• 京都市グリーンボンドのフレームワークは次の4項目で構成しています

2 対象事業の評価・選定プロセス	環境政策局地球温暖化対策室と行財政局財政室が、各部局にヒアリングを行い、各対象事業の適格性基準に照らして 適格性に関する評価を行い、その結果に基づき当該年度に発行する京都市グリーンボンドの対象事業候補の選定を行う
	対象事業
	市有施設太陽光パネル設置事業 ・ 京都市公共建築物脱炭素仕様に定める、延床面積に応じた太陽光発電設備の導入
	市有施設・設備省エネ改修事業 。 高効率照明機器(LED)の導入及び高効率空調(30%以上の省エネ)への更新
	クリーンセンター改修事業
	土壌汚染対策事業
	緑化推進事業 ・ 緑被率の向上
	森林整備等事業 森林の有する多面的機能を発揮させるための、適切な造林、保育及び間伐並びに保全又は林道等の整備
	次世代自動車・バイオディーゼル車 • EV、FCV、HV・PH(E)V(CO ₂ 排出量50g-CO ₂ /km・人以下)及びバイオディーゼル車の導入 導入事業
	河川整備事業
	市有施設新築・増築事業 以下のいずれかの条件を満たすこと
	CASBEE京都のSランク又はAランクを取得していること
	非住宅:規模・用途に応じZEB Oriented相当以上のBEI(一次エネルギー消費量基準)を満たすこと住宅: ZEH 水準相当の BEI を満たすこと(見込みを含む)
_	
3 調達資金の管理	地方公共団体の各会計年度における歳出は、その年度の歳入をもってこれに充てる必要があるため、京都市グリーンボンドの 調達資金は、原則として当該年度中の対象事業に充当される
	財政室は、京都市グリーンボンドの対象事業に対する資金充当状況を必要に応じて追跡できるように執行実績を管理し、それらを「レポーティング」に基づき公開する
4 レポーティング	京都市グリーンボンドにより調達した資金の充当状況とともに、充当事業の環境改善効果をインパクトレポーティングとして起債翌年度に本市のホームページに公開する

調達資金の使途

事業概要	事業区分	効果
省エネ改修事業 (施設のLED化) 2024年度充当実績:15百万円	<対象事業> 市有施設・設備省エネ改修事業 〈グリーンプロジェクトの事業区分> 省エネルギー	<想定される環境改善効果等> Iネルギー使用量削減によるCO ₂ 排出量削減 <2024年度の実施状況> LED化整備箇所数: 205箇所 Iネルギー使用量削減によるCO ₂ 排出削減量: 149MWh/年 62.9t-CO ₂ /年
環境性能に優れた市有施設の整備 2024年度充当実績:5,700百万円	<対象事業> 市有施設新築・増築事業 〈グリーンプロジェクトの事業区分> がリーンビルディング 省エネルギー	 <想定される環境改善効果等> エネルギー使用量削減によるCO₂排出量削減 再生可能エネルギー導入量の増加 市内産木材(みやご加木)等の利用に伴う炭素貯蔵によるCO₂排出量の削減 <2024年度の実施状況> 整備箇所数(CASBEE京都Aランク以上を取得):3施設 エネルギー使用量削減等によるCO₂排出量削減量:1,808t-CO₂/年 再生可能エネルギーの導入量:404万MJ/年 市内産木材(みやご加木)等利用量:879m³
河川整備 2024年度充当実績:285百万円	<対象事業> 河川整備事業 〈グリーンプロジェクトの事業区分> 持続可能な水資源管理 気候変動に対する適応	<想定される環境改善効果等> 浸水被害の防止など、気候変動への適応 <2024年度の実施状況> 整備箇所数:河川40路線、排水機場2箇所、排水路10箇所
緑化推進 2024年度充当実績: –	<対象事業> 緑化推進事業 〈グリーンプロジェクトの事業区分> 自然資源・土地利用の持続可能な管理 生物多様性保全 気候変動に対する適応	<想定される環境改善効果等> 緑地面積の拡大による環境保全 雨水流出の抑制 <2024年度の実施状況> -

充当事業の事例

環境性能に優れた市有施設の整備事業

環境性能の高い建物(※)の新築・増築に充当しています。 ※ 以下のいずれかの条件を満たすこと

- ・CASBEE 京都の S ランク又は A ランクを取得していること
- ・非住宅については、規模・用途に応じ ZEB Oriented 相当以上のBEI(一次エネルギー消費量基準)を満たすこと 住宅については、ZEH 水準相当のBEI を満たすこと(見込みを含む)



▲京都市立芸術大学新キャンパス(2023年度実績)



▲洛西陵明小中学校(2024年度実績)



▲京都市北庁舎(2024年度実績)

事業概要

2024年度対象箇所等

<栄桜小中学校(小栗栖中学校区小中一貫教育校)>

建設地:京都市伏見区小栗栖森本町47番地の4ほか(第一種中高層住居専用地域)

建築面積:5,716.99㎡ 延床面積:13,820.67㎡ 構造:RC造(一部W造他)

CASBEE Aランク 外皮性能 (BPI) 0.63 省エネ性能 (BEI) 0.69

<洛西陵明小中学校(西陵中学校区小中一貫教育校)>

環境性能に優れた 市有施設の整備 建設地:京都市西京区大枝南福西町1丁目7番地(第一種中高層住居専用地域) 建築面積:6.130.86㎡ 延床面積:14.754.45㎡ 構造:RC造(一部W造他)

CASBEE Aランク 外皮性能 (BPI) 0.58 省エネ性能 (BEI) 0.71

〈市庁舎〉

建設地:京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地ほか(商業地域)

建築面積: (合計) 10.826.63㎡ 延床面積: (合計) 60.817.40㎡ 構造: RC造、S造

 CASBEE
 (本西北) Sランク
 外皮性能(BPI)
 (本西北) 0.79 (分庁舎) 0.77
 省エネ性能(BEI)

(本西北) 0.74

(分庁舎) 0.64

充当事業の事例

河川整備

本市の「普通河川整備プログラム」、「河川整備方針」、排水機場長寿命化修繕計画(上位計画:公共施設マネジメント基本計画)等に基づき実施する事業に充当しております。





▼瀬戸川(2024年度実績)





■西羽束師川本川 (2024年度実績)

緑化推進

近年多発する豪雨被害などの水害に対して、雨水流出抑制の効果による防災機能に加え、京都の庭園文化を活かしたグリーンインフラである雨庭整備事業に充当しております。





◀四条大宮交差点 (2023年度実績)





▼東大路今出川交差点(2023年度実績)

事業概要 2024年度対象箇所等

河川整備

● 河川:瀬戸川、西羽束師川、高瀬川 ほか37路線

• 排水機場・排水路:小栗栖排水機場 ほか11箇所 ※整備対象については下段を参照

緑化推進 (雨庭整備)

● 雨庭整備: 四条大宮交差点、東大路今出川交差点、外環三条交差点(2023年度実績)

河川整備 対象の河川等一覧

事業概要	2024年度対象箇所等
河川(40路線)	狭間谷川、札上谷川、樫見谷川、吉田谷川、稲谷川、小倉谷川、宮ノ谷川、西羽束師川(本川)、小塩川、竹田川、第二太田川、一乗寺川、梅谷川、高土居川、宮川、草生川、長代川支川、第一疎水分線、高川、大日川、大岩川、稚児川、清水音羽川、岡川、三ノ橋川、高瀬川、三宝寺川、中田川、奥殿川、有栖川、西ノ川、院谷川、小畑川、社家川、淀水路、日野川、七瀬川、瀬戸川、新川、合場川
排水機場(2箇所)	小栗栖排水機場、巨椋池排水機場
排水路(10箇所)	大北山水24号、大北山水13号、大北山水26号、大北山水15号、大北山水25号、大北山水22号、大枝水0203号、五間堀川、一乗寺水5001号、上中久保谷水2号

充当事業の事例

施設のLED化

建物全体のエネルギー消費量の削減に資するほか、頻繁な電球の交換が不要となることから省資源に資するLED導入・整備に充当しております。



▲右京中央図書館(2023年度実績)



▲樫原児童館(2023年度実績)



▲二条城障壁画 展示収蔵館(2023年度実績)



▲稲荷山トンネル(2024年度実績)



▲右京区西京極周辺街灯(2024年度実績)

事業概要

2024年度対象箇所等

省エネ改修 (施設のLED化)

● 稲荷山トンネル、京北トンネル ほか202箇所



京都市 行財政局 財政室 環境政策局 地球温暖化対策室

住所 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL 【財政室】075-222-3290

FAX 【財政室】075-222-3283

HP https://www.city.kyoto.lg.jp/index.html

Mail 【財政室】syukei@city.kyoto.lg.jp